

## 第 165 回微小光学研究会 「海・空・地の微小光学」

2025 年に「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとして大阪・関西万博が開催される。大阪では、1970 年以來 55 年ぶりの開催となる。大阪市の人工島・夢洲を会場とし、「海と空と地の万博」をコンセプトに様々な最先端技術の展示や実証実験等が計画されている。本研究会では、開催に向けて期待の高まる大阪・関西万博に焦点を当て、「海・空・地」を切り口に、光技術で未来社会を先取りする取り組みを紹介する。3 年ぶりに関西で研究会を開催します。

”おこしやす京都へ”

日時：2022 年 12 月 2 日(金) 13:00-17:00

会場：京都工芸繊維大学 60 周年記念館 1F 記念ホール  
〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町

※オンライン同時開催予定

交通：(東京方面から) JR「京都」駅にて市営地下鉄烏丸線  
「国際会館」行きに乗車し「松ヶ崎」駅下車  
(大阪方面から) JR/近鉄「京都」駅、阪急「烏丸」駅にて  
市営地下鉄烏丸線「国際会館」行きに乗車し「松ヶ崎」駅  
下車。「松ヶ崎」駅から徒歩約 8 分。(松ヶ崎駅の「出口 1」  
から右(東)へ約 400m、四つ目の信号を右(南)へ約 180m)



[https://www.kit.ac.jp/uni\\_index/access/](https://www.kit.ac.jp/uni_index/access/)

### プログラム

13:00-13:10	開会の挨拶	
13:10-13:40	可視光デバイスを用いた水中光無線技術 ～水中光無線通信, 水中 LiDAR～	鈴木 謙一(トリマティス)
13:40-14:10	光ビームを用いる水中・海中光無線給電技術	宮本 智之(東京工業大)
14:10-14:40	光パターン形成LED照明「ホロライト」とその新しい応用	池田 貴裕(パイフォニクス)
14:40-15:20	<休憩・デモ展示> ※休憩時間中、現地にて講演に関するデモ展示を予定	
15:20-15:50	LED 光源を用いた MIMO 可視光無線通信	大柴 小枝子(京都工織大)
15:50-16:20	レーザー加熱による月の模擬砂を用いた建設材料の作製	藤田 雅之(レーザー総研)
16:20-16:50	可視光レーザー走査技術の新展開 ～LiDAR から照明・給電・通信、さらにはドローン応用まで～	石野 正人(大阪大)
16:50-17:00	閉会の挨拶	

参加費(消費税込、予稿集代を含む)：一般 5,000 円、応用物理学会員 4,000 円

学生・シニア 2,000 円、学生・シニアの応用物理学会員 1,000 円

申込方法：事前に微小光学研究会ウェブサイト(<http://www.comemoc.com/>)よりお申込み下さい

※開催前に予稿集と請求書を併せて郵送します。参加費を指定口座にお振込みください

担当委員：山本(大阪大)、藤(大阪大)、石井(古河電工)、横森(ナノフォニクス工学推進機構)、  
裏(京都工織大)、濱口(ソニーグループ)、桑田(三菱電機)

問合せ先：三菱電機(株) 桑田(Kuwata.Muneharu ■cs.MitsubishiElectric.co.jp)(■を@に変えてください)

微小光学研究会 代表：伊賀 健一

運営委員長：中島 啓幾

実行委員長：横森 清

運営副委員長：波多腰 玄一

実行副委員長：宮本 智之

※プログラムは微小光学研究会のウェブサイト <http://www.comemoc.com/> でもご覧いただけます

※Zoom によるオンライン聴講も準備します。現地会場での聴講は先着 100 名までとなります。それ以降にお申込の方はオンライン聴講となりますのでご了承下さい

<現地参加の方へのお願い>

- ・会場内でのマスク着用、手指の適宜消毒をお願いします。
- ・発熱・咳などの体調不良の場合の現地参加をお控えください。  
体温モニターにて発熱が認められた場合、入場をお断りする場合があります。
- ・会場は適宜換気するため室温変化が生じる可能性がありますのであらかじめご了承ください。